

## はなたより～七夕～

夏の初め、夜空にかかる星の川を渡り牽牛(彦星)と織女(織姫)が一年に一度7月7日に会えるという、何とも口マンチストなお伽話【七夕】。今回は七夕のお話です。

七夕(たなばた、しちせき)は、節供、節日一つです。旧暦の7月7日(月遅れの8月7日)の夜、七夕祭りが行われます。五節句の一つにも数えられます。

**【五節句・五節供】人日(正月7日)、上巳(3月3日)、端午(5月5日)、七夕(7月7日)、重陽(9月9日)。**

七夕はもともと棚機(たなばた)と書きます。「棚機(たなばた)」とは、乙女が着物を織って棚に供え、神様を迎えて秋の豊作を祈ったり、人々のけがれを祓う行事だったのです。この行事があ盆を迎える準備として、「7月7日の夜(夕方)」に行われるようになり、「七日の夕方から神に捧げる布を棚機女(たなばたつめ)が織る」ことから、「七夕」と書いて「たなばた」と当て字で読むようになりました。

そして、七夕祭りにはご存知の通り笹に願い事を書いた短冊を吊るします。笹(竹)は根強く、繁殖力も強く、風雪寒暖にも強いため神聖なものとして大切に扱われていました。その生命力と神秘性を兼ね備えた笹(竹)は、昔から神事にも使われていました。また、**笹の葉の擦れ合う音は神様を招く**と考えられていました。その音で天上に住むとされる先祖の靈が、地上に降りて懐かしい家族と会えるようにとの思いが届くよう

短冊を飾ります。もともとは中国の伝説から始まった七夕祭りですが、今では日本の代表的な夏の行事として各地で楽しめています。

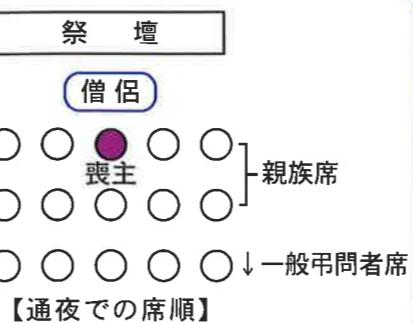
それにしても日本の伝統行事には「花」が付き物となっているようです。七夕も笹を使って願いを届けます。これからも季節ごとの行事に使われる花と由来について、「花だより」にのせて皆様にお届けいたします。季節の行事とともに楽しんでください。

フラワースペースデザイン部



## 役に立つ葬儀の話 Vol.4

今回は【通夜】のお話です。そもそも【通夜】って何?と思われる方もいらっしゃるかもしれませんね。【通夜】とは古代の殯(もがり)の名残りで、夜伽(よとぎ)とも言われています。夜を徹して死者を見守ることです。今も通夜の時には、ご親族の誰かが故人の枕もとのお線香やロウソクの火が消えないよう気を付けていらっしゃるのをお見掛けします。誰に教わるともなく身についている風習だと思います。



通夜式は和室で行われる場合が多く、席を譲り合いながらかかず、後から来られた人が着席できないというような場面が見られます。通夜の場合は前の方から遺族親族の皆さんが着席し、弔問の方は空席を作らないよう詰めて座られるのが故人に対して思ひやりがあり、遺族に対しての心遣いともいえます。

通夜に臨まれる方からのご質問で、服装のことを尋ねられます。通夜での服装は、本来であれば色を抑えた平服といわれますが、最近ではご弔問の方々も通夜

から礼服を着用されることがほとんどです。また、女性は丈の短すぎるスカートや露出の多い服は避けて下さい。装飾品については華美なものは外します。ただし結婚指輪は外す必要はありません。

遺族・親族として、あるいは弔問として列席される場合でも、個人への敬意をもって場に合った服装と振る舞いを心がけましょう。



伊藤寿浩

## 葬儀の現場から ちょっとといい話 ~好きだった音楽で送る~

5月は全国的に、いや世界的規模での「母の日」にそれぞれの想いでお母さんに感謝の気持ちを伝えたのではないかと思います。そして6月18日は「父の日」でしたが、皆さんお父さんに感謝の気持ちを伝えることができましたか?なぜか「母の日」よりも「父の日」の方が忘れられがちですが、家族のために一生懸命働いているお父さんに「ありがとう」の気持ちを伝えたいですね。

少し前に私が担当させて頂いたお客様で、一家の大黒柱のお父さんを送られたご家族のお話です。お若いころには喫茶店を営まれ、音楽好きの仲間が自然に集まりバンド活動を楽しみながらも、日々子供達のために昼夜を問わず働き通しだったと伺いました。子供たちも成人し、それぞれが独り立ちをしてお父さんも一安心、これからは子供たちの家族に囲まれ、趣味の音楽活動を思いきりしながら楽しく過ごすはずだったのに病魔に襲われ帰らぬ人となってしまいました。

葬儀の2日程前から、葬儀の会場には年齢の壁を越えた音楽のお仲間たちが、共に音楽を楽しんだ仲間を精一杯の友情で送ろうと集まっておいででした。お別れの時には生前好きだった曲が流れる中、バンド活動をしている時の動画を見ていただき、ご家族のご挨拶も音楽にまつわるエピソードを交えた心温まる言葉で締めくられていました。音も曲も絵も文章も一つ一つにこだわりがあり、それだけにお父さんに対する敬愛の想いが伝わってくるものでした。

故人の思い入れのある音楽や、趣味の物で最後のお別れの花道を飾ることで、故人も穏やかにご浄土までの道を辿ることができたのではないかと思いました。そして、そこに集まった縁の人たちもまた故人に對し、お互いに對しての感謝の気持ちを新たにされたようでした。

家族のみならず、故人に縁ある人たちで作り上げた心のこもった葬儀を担当させていただき、私もまた感謝の気持ちでいっぱいになりました。



村上聰志

ドリーマー中寺葬祭館  
10周年記念 大感謝祭開催!!

7/9 日  
午前10時～  
午後3時

ドリーマー中寺葬祭館は10年を迎えました。

地域の皆様に感謝の気持ちを込めてお客様大感謝祭を開催します!ドリーマーの中身をじっくりご覧ください。小さなお子様からおじいちゃんおばあちゃんまでプレゼントをご用意してご来場をお待ちしております。

気になる祭壇とお花のお値段、返礼品のあれこれ、棺・骨壺・仏衣…色々見られます。お仏壇やお墓のこと等々見ないと損!聞かないと損!素敵なプレゼントをご用意してご来場をお待ちしております!

ドリーマースタッフ一同



## ドリーマーと一緒に働いてみませんか?

空いた時間を有効に使いませんか?女性が多く活躍されていますので安心です。セレモニーにおける会館でのコーヒー、お茶などのお配りや式場への案内などの接客が主な仕事内容です。興味のある方はぜひ一緒に仕事してみませんか?

募集に関するお問い合わせは  
0898-33-7888 担当 野口



正社員も  
同時募集  
しております!  
未経験者歓迎!

男性・女性問わず  
年齢45歳まで  
やる気のある方  
大歓迎!